

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
世田谷	優つくり グループホーム 池尻	① さらに細分化した職員一人ひとりへの育成が期待される。	① 個々のスキルに合わせ所得して頂きたい事の研修スケジュールを組み研修を実施して行く。 またキャリアアップ申請書で上がった個別の希望研修を汲み取り入れていく。	① スキル向上のための専門研修及びリーダーシップ研修の参加を実施。
		② 多く収集したヒヤリハットを個別や項目ごとに詳細化し、利用者1人1人の安全に向けた支援手順書に繋げる事が期待される。	② 類似しているヒヤリハット内容が多く出ている際は、meetingを行いケア方法や検討を実施する。また、支援手順書の見直しを行っていく。	②+E8 ミーティングを開催し、具体的なケア方法や予防策を議論。さらに、支援手段書の見直しを行う。
		③正社員の中で、候補になりえる職員を上司が選抜し、主任業務の説明・指導・育成を行っていく。	③フロアリーダー及びサブリーダークラスのさらなる育成や排出が期待される。	③ 定期的なリーダー研修し、具体的な事例をもとにした事例検討会を実施した。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
世田谷	クローバーハウス駒沢	コロナ感染の為数々の行事が出来なくなっている	少々出来ることから改善できる様心がけて行きたいと思っています。 現在散歩だけ再会している。	出来る事から入居者様と一緒に楽しく暮らせるように案内にてスタッフが考えて取り組で行きたいと思っています。
		職員の技術能の向上	職員一人一人同じ方向に向き合って入居者様に寄り添った支援を行なえる為スキルアップの向上して学ぶ機会を改善していける様に指導して実施して行きたいと思っています。	ホーム内での研修に取組でスタッフが入居者様にあった能力・身体を見極める事を共有して解決して行く事を徹底する。
		外国籍職員のマニュアルの取り組み	職員が業務の中で介護技術を言葉の壁がともなっていない為、的確な視点から考えて寄って指導して行くことです。	外国籍職員を共に今伝えたい事を行動で指導して連携を取ってスキルアップに取り組んでいる。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
世田谷	クローバーハウス若林	1.外国籍の職員へ様々な方法や工夫を凝らして研修を行っているが今後も研修を充実させていくことを課題としている。	1.外国籍の職員には職員同士の情報共有や利用者様への接し方について研修を行なう。 よく使う日本語をプリント化し、敬語が使えるように研修を重ねる。	1.外国籍の職員には職員同士で情報共有を行ない利用者様への接し方についての研修を行なった。
		2.ボランティアの再開や外出や地域との交流を目指している。	2.コロナ禍で中止となっていたボランティアを再開予定である。 近隣への外出家族との面会はすでに再開しているが外部との交流ができるよう感染対策をしながら取り組んでいく。	2.中止していたボランティアを再開した アコーディオンボランティア6/12 14～15 傾聴ボランティア7/10.7/17それぞれ14～14:30 1名ずつ実施

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
玉川	グループホーム たのしい家 上野毛	1 ご入居者様の日常生活等、豊かな暮らしぶりやその姿をご家族様に伝える、紙ベースの新聞やSNS等を活用しての情報提供への取り組み	1施設ブログの運営一ヶ月ごとの更新レクリエーションや日常の様子を撮影し運営推進会議やご家族様への議事録などに合わせ案内や郵送を行う。	1月一回のペースでのブログ更新は行なえておりイベントや日常風景などの発信にて頻度が向上できている。 運営推進会議での発表を行えるようになっている。
		2ご入居者様の安心で健康的な暮らしを意識。心身状況の重度化や認知症状の進行等を踏まえた介護やケアの見直し等への取り組み	2日常において職員への注意喚起を行い日々の変化や気付きを報告、共有行えるよう環境を構築する。 計画作成を中心により良い介護ケアにつなげていく。	2勤務帯の交代に合わせての申し送りや計画作成への情報の集約が行えているがフロアによる差がある状況ではある共有情報の明確化がすすめられている。
		3 ご入居者様への関わり方や声掛けに対し 日頃から全体的指導、人権擁護についての認識を高め、ご入居者様を尊重する支援への取り組み	3人権擁護についての意識を高く保てるよう定期的な注意喚起を行う。また不適切なケアの具体例や発生リスクのある事例などを職員へ提示し理解を深める。ご入居者様を尊重する支援を行う事が施設全体での共通認識であるように取り組む。	3定期的な研修と注意喚起は行えている。 認識に関しての意識向上を今後も行って行く。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
玉川	グループホーム ノテ深沢	1, 利用者の状況等に関する情報共有を申し送りで行っているが、定期的にユニット会議を開催し課題についての話し合い深めることが必要。	1, 定期的にユニット会議を開催する。 秋以降に開始する記録ipadを活用し、迅速に情報共有を図る。	1, 毎月各ユニット会議を開催し、ユニット会議から出た課題を3ユニットの全体会議にて報告、検討し周知している。ipad は職員全員が使えるようになっている。
		2, 面会について規制しており、ご家族とのコミュニケーションをとる時間が少ない。	2, 対面以外にも、近況報告を行い情報共有することができる。毎月送付しているお写真に合わせて居室担当者からの報告書を添付する。	2, 主に近況報告は電話で行っている。毎月の写真は継続しているが、報告者までは取り組めていない。
		3, 事故・感染症の再発防止に対する職員の意識付け、さらなる利用者保護を図る必要がある。	3, ヒヤリハット報告書の活用(情報発信)職員個人の体調管理の徹底。	3, 事故を未然に防ぐためにヒヤリハットを活用し情報共有を徹底している。体調が悪い時には他の職員と交代することを徹底している。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
砧	グループホーム いきいきの家 二子玉川	①主治医や看護師等の多職種の見も確認して多職種で連携でケアプランを作成できるとよい。	・月2回の往診と毎週の訪問看護を活用し医療チーム等の意見くみ取り具体的なケアプラン作成を目指す。	・さらに往診に立ち会う薬剤師からも意見をもらいケアプランに反映することができている。
		②身体拘束適正化委員会で確認する内容についてより具体的な項目を確認できるとよい。	・管理者及び計画作成者2名が中心となり 不適切事例(センサーの使い方スピーチロック等)の確認を行う。	・センサーの使い方、位置を統一。スピーチロックの明らかな減少がみられる。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
砧	グループホーム 花みず木	1, 日常生活の中で実施する取り組みがさらなる利用者の安全につながることを期待したい。	1, 利用者の役割を持つことで自己肯定感を向上させ、自ら進んで日常生活動作を行うことにより身体全体的に筋力の低下を防ぐような対応を行った。	1, 利用者の有する能力により役割分担を行い、立位保持が困難な利用者は座位にて出来る作業の参加や立位にて行う食器洗い等は健脚な利用者がフォローして行う等互いに利用者同士が助け合うようになり自己肯定感の向上にもつながった。
		2, 職員体制の構築及びフロアーリーダーの育成によって職員定着とさらなる質の向上を目指したい。	2, フロアーリーダーを3名配置し業務等職員全体で情報の共有、利用者の対応についても意見交換を行える体制の構築をおこなった。	2, フロアーリーダーを中心に新人育成を行ってきたが、リーダーに対しての育成の課題も見えてきている、引き続きリーダーを含め職員全体の育成を継続していく。
		3, 利用者サービスの質の担保と職員の定着を目指すための組織作りになお一層の努力を期待したい。	3, 週1度の勉強会の継続と共にラインワークス掲示板に基本的な介護ケアの教材等を掲示し、自己学習の取組み実施。	3, 介護技術についてはZoomでの実施ではなく勤務時間外に集合し実施した。身体拘束の適正化や高齢者虐待防止委員会生産性向上委員会の実施も勉強会とし参加できる職員全員が参加し共有を行った。外国国籍の職員も多く言葉の理解が今後も引き続き課題と感じている。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
砧	グループホーム ももちゃん	現在整備しているマニュアルの見直しに加え、BCPを含めた各種マニュアルを活用しリスクマネジメントの強化と職員理解促進に期待。	マニュアルは、新人職員を中心に見直す箇所を定期的にチェック、また見づらいものは新規作成をする予定。BCPに関しては主に動画研修を取り入れ、理解しやすい仕組みを確立する。	マニュアルの見直しは新人職員に確認しながら、各委員会で見直し基準を確立。BCP研修が7月までに職員全員が受講。
		ICT導入で業務簡略化と利用者支援に注力していることに加え、職員のシステムの理解を深め業務効率化と負担軽減に期待。	業務簡素化を目的としたICT導入を推進していく。職員がより利用者支援に注力し、利用者の暮らしが良くなる仕組みを確立する。また、ICT導入に伴い、苦手意識のある職員がスムーズに実践できるよう委員会を立ち上げる。	日常記録及びケア計画等の手書きから電子化し、苦手職員には得意は職員が教えている。着実に職員皆ができるようになりつつある。また、委員会を立ち上げ問題点や疑問点を一つ一つ解決へ向け稼働している。
		コロナ禍で途絶えてしまった外部との関わり、地域交流の再開に向けての取り組みに期待。	以前行っていたボランティア導入は厳しいが、秋祭りで地域住民に参加してもらいイベントを復活させたい。また近隣の図書館を定期的に利用していく。	毎年恒例となっていた秋祭りが、コロナ禍により中止していたが令和5年より小さな規模で開始。近隣の図書館への利用も実践している。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
砧	グループホーム 成城さくらそう	・家族同士の交流が図れる場所や事業所への理解を 深めてもらう機会となる、家族等が参加できる行事の実施に期待します。	・コロナ禍で中止となっていた家族が参加できる夏祭りや敬老会を再開し、家族が交流できる機会を作る。	・行事委員会で来年度の実施へ向けて検討しているが、感染症の動向を見ながら慎重に考えている。
		・BCP(事業継続計画)は現在運営会社が策定中 ですが、完成した際には職員や利用者家族等へ速やかに周知し体制を整えることに期待します。	・完成し次第ご家族様が確認できる媒体で情報を発信する。	・請求書をUPしているWeb上にて公開し、閲覧できるように対応済み。

令和5年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和5年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和7年3月現在)
烏山	烏山 グループホーム くつろぎ	定期的なアクイティビティプログラムの早期再開。	季節毎の行事や誕生会を年間計画として実施する。	コロナが5類移行後も近隣の施設や一般家庭における感染発生や当施設内での感染症発生が複数回あり、家族を招いての行事は見送りとした。入居者も身体面、認知面において、軽度の方と重度の方が混在しており、全体として行事を行うには限界がある為、個別的な活動の機会として、短時間で実施できる体操やテーブルレクリエーション、カラオケなどの時間を設けた。また、敷地内における中庭を活用したお茶会の実施や家庭菜園による野菜の収穫など行った。全体として行う行事として、お花見・敬老会・クリスマス会・お正月のお祝いを実施した。ご家族様には行事など活動時の様子を手紙など使ったお知らせを行った。